

令和3年度第1回今治市児童館運営委員会 意見書に対する回答

	整理区分	運営委員意見	今治市回答
1	新型コロナウイルス対策について	<p>コロナのため、イベント等が中止になり残念だった。次年度以降も子ども目線に立ち、よりよい運営に努めてもらいたい。</p> <p>おもちゃ保管庫を導入したことは子供たちへの安全に配慮しており良い。しかし、図書の消毒が不十分に感じるので、今後は図書の消毒ができる機器の導入も進めてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。新型コロナウイルスについては未だ収束のめどが立っておらず、イベントを中止せざるを得ない状況が続く事を市としても残念に思っております。「子どもたちが遊びに行ける場」を確保するため、閉館に繋がるリスクを都度考慮しながら制限を設けさせていただいていることにご理解いただけますと幸いです。</p> <p>新型コロナウイルス対策として、児童館では日々職員による玩具等の消毒を行っています。おもちゃ保管庫の導入により消毒の難しかった小さな玩具や、カードゲーム等の紙製の玩具を提供できるようになりました。図書の消毒ができる機械は導入が難しいところではありますが、現在できる範囲で対策にあたり子どもたちに読書の機会を提供したいと考えております。</p>
2	バリっこフェスタについて	<p>コロナのため大規模なイベントが中止になったことは残念であるが、今後もコロナ前のようなイベントの開催は難しいと考えられるので、小規模のイベントを複数計画するなど対応してもらいたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。現在の新型コロナウイルスの状況の中、市としましても以前のようなイベントの開催は難しいと考えております。そのため、児童館では令和4年度から児童館のない小学校区で行うイベントに力をいれる予定です。</p> <p>また、バリっこフェスタの代替イベントとして実施したミニイベントの内、好評を博したものについては各児童館で行う館イベントに組み替え継続して実施する予定です。</p> <p>大規模イベントとしては、「こどもが真ん中フェスタ」を子育て世帯を中心としたイベント内容で開催しますので、皆様にもご協力をお願いできたらと存じます。</p>
3	各種会議やアンケート等の取組	<p>児童館を利用する親は、子育て中の自分の思いを受け止めてほしいという願望があるようなので、子育て支援に携わる職員の専門技術を高めてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。児童館では相談業務にも取り組んでおりますが、新型コロナウイルスの影響もあり、児童館へ来館する親子は日々の子育ての悩みを気軽に相談できる場を持つことが難しいようです。</p> <p>児童館に来た時、職員が悩みや不安を傾聴するだけでなく、同じように子育てをしている親子で問題を共有することで自己肯定感を高めることもできますので、職員は話しをしやすい雰囲気を作り親子に寄り添えるよう、技術を磨いてまいります。</p>

3	<p>各種会議やアンケート等の取組</p>	<p>玩具や設備等の拡充を求める声の全てに応えることは難しいかと思うが、対応できる部分是对应しながら、対応しがたい部分はルールを設けるなど、倫理面での成長を促すことも必要と思う。</p> <p>市民が求める、児童館の増設、設備や駐車場の充実などの対応は難しいと思うが、新しい施設だけでなく今ある児童館の活用も進めてほしい。</p> <p>大型児童館の建設は「ネウボラ施策」とリンクし、是非実現してほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本年度はこどもが真ん中親会議やWebアンケート等で市民の意見を直接聞く機会を持つことができ、様々な意見をいただきました。</p> <p>玩具等の拡充については、12月の補正予算で体育用具や木のボールプールを購入した他、令和4年度予算に玩具購入用の費用を計上しました。3月議会で可決されれば、各館で玩具の購入にあて子どもたちに喜ばれる玩具を増やす予定です。</p> <p>建物自体の拡充や駐車場の拡大は一朝一夕での対応は難しいため、限りある設備の中で快適に利用していただけるよう工夫を凝らし運営にあたっております。館運営について具体的な改良点等がありましたら、ご意見をお聞かせください。</p> <p>大型児童館については、今治市全体の子育て支援施策の中で検討を進めることになるかと存じます。市民の希望や意見、子育て支援施策として必要な機能等、様々な方面から施設について検討することになりますので、皆様にもご協力をお願いいたします。</p>
4	<p>学校との連携</p>	<p>令和4年から市内小中学校でCS（コミュニティスクール）が導入されることもあり、学校との連携は必須であるので児童館、学校、家庭の連携を進めてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。児童館では相談業務にも積極的に取り組んでいます。家族のこと、友達のこと、学校のこと——子供たちにとって学校の先生は距離が近すぎるゆえに相談しにくいことも、児童館の職員にはポロリと吐露することもあるようです。今までもそうでしたが、今後も気になる相談等がありましたら学校や専門機関と連携を取らせていただきます。</p> <p>また、学校や家庭、地域で子どもたちを見守る様々な住民と協力し、児童館は子どもたちの居場所の一つとしてありたいと考えておりますので、相談やご意見など積極的にいただけたらと存じます。</p>

5	<p>児童館の偏在対策</p>	<p>偏在対策として行うという令和4年度のおでかけ児童館の実施頻度はどれくらいか。</p>	<p>おでかけ児童館にも、複数館で開催する大規模なもの、地域の団体が直接来てもらいたい児童館に依頼する小規模なものなど様々な規模のものがあります。</p> <p>令和4年度のおでかけ児童館の開催予定は下記のとおりとなります。（全て児童館のない小学校区で実施）</p> <p>地域のイベント内でのブース出展……13 FC今治ホーム戦出展……5 めいたん広場……4 複数館で開催する運動イベント……3 ワールドプラザ・イオンモール……各12（月1回） 地域の親子教室・遊び講座……92 商業施設イベント……7 保育所けん玉指導……114</p> <p>令和3年度より20回余り開催回数を増やしているほか、令和3年度から継続して関前地区へのおでかけ児童館4回を行い、関前地区の児童の健全育成に従事する予定です。</p>
	<p>その他</p>	<p>児童館に行くきっかけが見つからないとの声があるので、きっかけになるようなイベントを考えてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。きっかけとなるイベントとは異なりますが、児童館の存在を広く周知するため、幼児を対象とした健診の際に児童館の案内を行うようにしました。イベントについても開催したいと思いますので、具体的なイベントのイメージなどご教授いただけましたら幸いです。</p>